

ご挨拶



行成 哲弘

第30回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会

大会長 行成 哲弘

大会企画 中村 則子

準備委員長 高風亜由美

現在の日本の歯科医療は歯科医師、歯科衛生士、その他のスタッフから成っています。特に多くの女性に支えられている小児歯科では大学でも開業医でもその役割は大きく、お互いの協力調和は不可欠です。日本小児歯科学会では現在全会員のうち、約40%以上が女性で、20代から30代に限れば、65%が女性会員です。それを受けて女性小児歯科医委員会が平成22年度から設けられました。各大学の医局でも、臨床・研究・教育の場でも女性が活躍しています。歯科衛生士にいたっては、ほぼ100%が女性でその他のスタッフも女性がほとんどではないでしょうか。そこで今回、九州地方会としては初めて女性にスポットを当てた大会を企画しました。大会企画は長崎小児歯科臨床医会の中村則子先生（残念ながら病のため今年7月2日に逝去されました）の言葉より我々会員が各々考え、理解することから始まりました。

「この世の中は男と女しかいないわけで…しかも、小児歯科の現場で活躍している女性はとっても多い！でも、結婚や子育てで、泣く泣く現場を離れなければならない女性がたくさんいるのも現実。。。結婚や子育ての経験は、マイナスじゃなくて、プラスになることも多いのにね。小児歯科に携わるすべての男性と女性が協力し合って、お互いを活かせるようになれば、きっともっともっと魅力的な小児歯科になるのに…。そのためには、何をしたらいいんだろう？どんな取り組みが必要なんだろう？そんなことを考えるはじめの第一歩になればいいなあ～女も男も一緒になって考えてみようよ！！」



中村 則子

小児歯科での女性の役割を見つめなおし、より女性が働きやすい環境、仕事を続けやすい環境、輝くことができる環境、経験を活かすことができる小児歯科を女性と男性共に考え、協力し合いより良い医療の構築を目指しましょう。そのためにメインテーマとして「女と男^{ひと} ともに活^いかす小児歯科」を掲げ、各方面でご活躍の歯科医師、女性講師をお呼びし、その生の声を多く聴くことができるような講演、シンポジウムを準備しました。コデンタルスタッフセミナーでも男性の歯科医師が聞いても明日からの診療、人間関係育成に役立てることができるようなセミナーを準備しました。この学会を期に人との絆を深め、医療の原点を見つめ直し、魅力ある小児歯科を作る布石になればと思っています。

最後になりましたが、本学会は開業医が学会を開催する趣旨から私が大会長となりましたが、学会運営のほとんどは大学の先生方のご尽力によるものです。特に長崎大学の藤原教授をはじめ医局の先生方には並々ならぬご尽力を賜りました。あらためて御礼申し上げます。

大会の日を迎えぬまま逝去された中村則子先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。